

もしもし

vol.
104
2023
Winter

Feature
特集

皮膚科



contents



Feature より良い治療の選択を
進化し続ける皮膚科の治療
| 早期治療が大切「白内障」

| もしもしINFORMATION
| なるほど!おくすりエトセトラ

| 旬の“おいしい”いただきます!
| がっちり連携 連携医療機関のご紹介



専門の医師による知見で 諦めずに、より良い QOL改善 治療の選択を

直接命に関わることは少ないものの、かゆみや痛み、見た目の問題に悩む人が多い皮膚の疾患。症状が長引くことも多く、「一生付き合うもの」と諦めている人も多いのではないのでしょうか。

一般にはあまり知られていませんが、皮膚科の治療は年々進化を遂げており、専門の医師の診断・治療によって劇的に改善することあります。よくある皮膚疾患に対して、今できる最善の治療をご紹介します。

Profile

Ideguki Takeo
出月 健夫

皮膚科部長

1994年浜松医科大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院、虎の門病院を経てNTT東日本関東病院へ。下肢静脈瘤の治療の皮膚科領域におけるリーダー的存在で、初診から手術、圧迫療法の指導まで自ら行う。得意分野は皮膚科一般、皮膚外科、レーザー治療、下肢静脈瘤。日本皮膚科学会皮膚科専門医。



Profile

Inami Maiko
井波 真矢子

医師

2012年金沢大学医学部卒業。黒部市民病院、金沢大学附属病院、福井県立病院で研鑽を積み、NTT東日本関東病院勤務。あらゆる皮膚疾患の先進的な治療の知見が豊富で、患者への周知にも尽力する。日本皮膚科学会皮膚科専門医。



見た目だけでなく集中力が 向上するケースも！ 皮膚疾患の治療

ありふれた皮膚疾患も 「正しく診る目」が重要

近年、「内科・外科・皮膚科・アレルギー科」といったように、複数の診療科目を標榜して広く患者さんのニーズに応えるクリニックや診療所が増えています。皮膚のトラブルは頻繁に起こり得るものですから、普段から親しんでいるクリニックに気軽に相談できることの利便性は非常に高いと考えます。高次医療機関と連携がとれているクリニックなら、症状の重症度や治療の難易度に応じて適切な

医療機関を紹介してもらうことができるでしょう。

他方、皮膚科を専門とする医師の診察を受けることにも大きな意味があります。例えば、ただの湿疹のように見える症状であっても経過観察を待たずとも皮膚疾患と見分けたり、隠れた重症の疾患を見つけたりすることができます。また、日進月歩で発展する皮膚科医療の新しい知見や技術をいち早く獲得しているため、より効果がある治療を速やかに受けられるのもメリットだといえるでしょう。

いずれにせよ、患者さんには、

一人ひとりの状態に応じた効果の高い治療を選択し、「まあ、こんなものだろう」と考えていた症状を改善して生活の質を上げていただきたいと思います。

皮膚疾患専門の常勤医5名が 地域医療をバックアップ

「アトピー性皮膚炎」や「乾癬」は、治療が劇的に進歩した疾患の代表例です。詳しくは後述しますが、アトピー性皮膚炎や乾癬は見た目に症状が現れるため、人の視線が気になる、肌を露出するのが怖い、など精神的なストレスも多い疾患です。乾癬は10～14%の患者さんに関節症状を伴うことがあります。どちらも根本的な治療が見つかっておらず、長らくステ

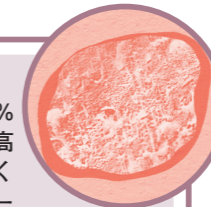
ここ数年で大きく変わった 》》》 皮膚疾患に対する治療法

乾癬

【症状】乾癬の日本での発症率は約3%で、中高年に好発します。一番頻度の高い尋常性乾癬の他、乾癬性関節炎などいくつかのタイプがあります。細胞のターンオーバーが早くなり過剰に増殖し、厚い銀白色のうろこ状の鱗屑(りんせつ)を伴った赤い発疹が見られます。他の人にはうつりません。

【原因】体質や外的要因、免疫学的要因により発症します。

【治療法】重症度により治療法は異なります。活性型ビタミンD3やステロイドの塗り薬などの外用療法を基本とし、状態により紫外線療法や内服薬、生物学的製剤(注射薬)による治療を行う場合があります。

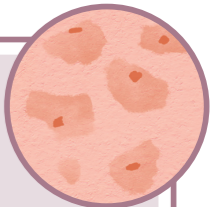


アトピー性皮膚炎

【症状】アトピー性皮膚炎は、かゆみのある左右対称性の湿疹が良くなったり悪くなったりを繰り返します。乳幼児期から発症することがありますが、小児期までで症状が出なくなる場合もあれば、成人まで症状が持続する場合もあります。

【原因】皮膚のバリア機能異常とアレルギー炎症、かゆみの3要素が関連して発症します。

【治療法】外用療法が基本ですが、長年主に使用されてきたステロイドの塗り薬の他に、最近では非ステロイドの塗り薬も複数発売されました。また、全身療法として、JAK阻害薬などの内服薬や生物学的製剤など治療の選択肢が広がっています。



ロイドなどの塗り薬で症状をコントロールする方法が取られてきました。ステロイドの塗り薬は効果的で、用法・用量を守って使用する分には何の問題もありませんが、皮膚が薄くなるなどの副作用があり長期的な使用には適していません。

しかし近年では、ステロイド以外の塗り薬や、塗り薬で十分な効果が得られない方のための飲み薬、より重症の方にも有用な飲み薬や注射薬が開発され、治療の選択肢は拡大しました。現在、乾癬とアトピー性皮膚炎に用いることができる生物学的製剤(注射薬)やJAK阻害薬(飲み薬)は複数あり、患者さんの基礎疾患やライフスタイルに合わせて投与方法などを選ぶことができます。乾癬とア

トピー性皮膚炎については、生物学的製剤やJAK阻害薬によってかなり症状をコントロールできるようになりました。

急性期病院でしかできない 高度な治療にも注力

生物学的製剤は、皮膚科の診療に目覚ましい変化をもたらしました。しかし、皮膚科疾患に適応のある生物学的製剤は、生物学的製剤承認施設の認定を受けた施設でしか使用することができません。当院は認定施設として、クリニックの治療で改善が見られなかった場合の受け皿となっています。現状を甘んじて受け入れている方も、どうか諦めずに、より良い結果をめざしていただきたいと思います。皮膚疾患には重症例に限らず、

QOLを低下させるものが多く、治療が奏功すると「初めてかゆみのない生活を経験し、仕事の効率が驚くほど上がりました」「見た目に自信が持てるようになり、外出が楽しくなって人生が変わりました」といったフィードバックをもらうことがあります。髪の毛などで顔を隠すようにしていた方が、治療の成果が出るにつれて露出を嫌がらなくなり、やがて顔を見せて来院してくれるようになったこともあります。このように、皮膚疾患は、生活の質や精神面と強く結びついています。皮膚疾患が改善されることで、ときに人生すら変わることもあるのです。皆さんが生き生きと人生を楽しめるように、今後も新しい知見の獲得と提供に努めてまいります。

皮膚科全般に習熟した医師だからできる 皮膚外科の治療にも注力

下肢静脈瘤をはじめ 外科手術の実績も多数

従来、皮膚の表面にトラブルが起き、外科手術を必要とする際には、診断後に外科や形成外科が手術を担当するのが一般的でした。しかし、皮膚科を専門とする医師はあらゆる皮膚疾患のプロフェッショナルであることから、診断した皮膚科医自身がメスを握ることの有用性が議論されてきたのです。そして、皮膚科学の知識が十分にある医師が手術を行う皮膚外科が生まれました。当院の皮膚科では、皮膚外科にも積極的に取り

組んでいます。

皮膚外科による外科的治療を必要とする皮膚疾患には、下肢静脈瘤、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍などがあります。中でも下肢静脈瘤は、2008年から専門外来で診療してきた疾患で、多くの実績を積み重ねてきています。一連のプロセスを専門家が責任を持って包括的に実施できることは、高い専門性を持つ皮膚科の特徴でもあります。下肢静脈瘤の手術は局所麻酔でほとんどの方は日帰りが可能ですから、治療せず放置して悪化する前にぜひご相談ください。術後の痛みも多くの場合はほとんどなく、

すぐに日常生活に復帰することができます。

より充実した治療に向け 必要に応じて他科と連携

皮膚腫瘍のうち、粉瘤や母斑などは日帰り手術に対応しています。整容的に問題になる可能性がある場合は、形成外科に協力を依頼します。疾患の根治と見た目の維持を両立するため、連携して手術を行います。皮膚潰瘍の重症例についても同様に、形成外科、循環器内科、リハビリテーション科などと連携しながら適切な治療

を実施します。糖尿病に伴う皮膚トラブルがある方、乾癬による関節症状の詳しい診察が必要な方などについては院内の糖尿病内科やリウマチ・膠原病内科との連携をより強化して一貫した治療を行える体制の構築をめざしています。皮膚科は、医師の知見と経験に

よって、提示できる治療の選択肢に差が出るのが多い診療科です。できるだけ多くの治療の選択肢を提示し、その中から患者さん一人ひとりにとって「医学的にも治療的にも、そして患者さんの希望に合わせたベストな治療」を選べることは、当院の大きな強みだ

といえるでしょう。難治性の疾患や、治療に時間がかかる疾患も今なお存在しますが、皮膚科全体の治療が進歩しています。長年にわたって変わらない症状に悩んでいる方は、勇気を持って新しい治療も選択肢に入れてみてください。

ヘルペスやニキビといった身近な皮膚トラブルの治療も、ここ数年で様変わりしました。確実に良くなる治療を見つけるために、ぜひ当院にご相談ください。



難治症例や重症例など、治療のステップアップが必要なときには当院にお声がけください。症状が落ち着けばかかりつけ医にお戻し、「人と地域とつながる医療」を実践してまいります。

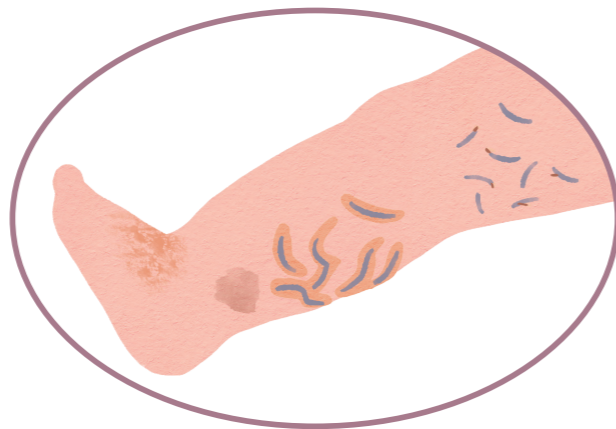
当院が積極的に取り組む 皮膚の外科的治療

下肢静脈瘤

【症状】 足の静脈が膨らんでこぶのように浮き出て見える状態。だるさ、重さ、むくみ、痛みなどの症状が出る場合があります。

【原因】 立ちっぱなしの仕事が多い方、高齢で筋力が低下した方、家族歴がある方などが発症しやすいです。足の静脈圧が高まるなど、静脈弁への負荷が長く続くことが要因と考えられます。

【治療法】 命に関わることは少ないものの、外見上の問題や、日常生活を阻害する不快な症状を改善するために治療をすることが多いです。重症の場合はレーザーなどを使用した血管内焼灼術、軽症の場合は弾性ストッキング着用による圧迫療法が効果的でしょう。



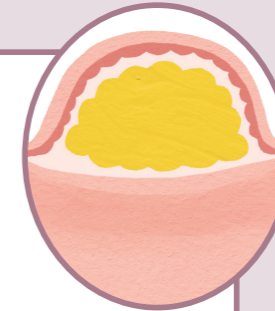
※当院では、火曜、木曜午後に下肢静脈瘤の初診外来を開設し、超音波検査や治療法の相談に対応しています。

皮膚腫瘍

【症状】 皮膚のできものこと。皮膚の表面が盛り上がった、しこりができたりします。粉瘤、脂肪腫などの良性腫瘍と、基底細胞がん、有棘細胞がんなどの悪性腫瘍があり、当院では悪性黒色腫を除いたすべての腫瘍に対応しています。

【原因】 腫瘍ができる原因はさまざまですが、悪性腫瘍は長期にわたる紫外線の影響が大きいともいわれ、外傷や熱傷といった刺激が原因になることもあります。

【治療法】 良性腫瘍の治療は、大きさにもよりますが日帰り手術か1泊入院を基本とし、悪性腫瘍の場合は腫瘍とその周辺の皮膚を切除。切除範囲が大きい場合は、別の部位から皮膚を移植する植皮手術も皮膚科で行い、整容的な部分は形成外科の協力を仰いでいます。

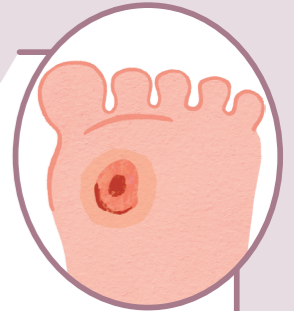


皮膚潰瘍

【症状】 足にできた切り傷や擦り傷がなかなか治らず、皮膚がなくなった状態。いろいろな原因によって、皮膚の欠損が深部に及び、治りにくい状態になります。

【原因】 外傷のほか熱傷、糖尿病や動脈硬化などによる動脈の血流障害、褥瘡、下肢静脈瘤による静脈のうっ滞など。

【治療法】 重症下肢虚血による動脈性潰瘍は、循環器内科による血管内治療で狭窄した動脈を拡張して治療を行います。静脈性のうっ滞性潰瘍で下肢静脈瘤が原因であれば、外科治療を行った後に圧迫療法を実施。潰瘍の範囲が広い場合は、入院による治療となります。



「困ったな」が受診の目安 早期受診で見える喜びを取り戻そう

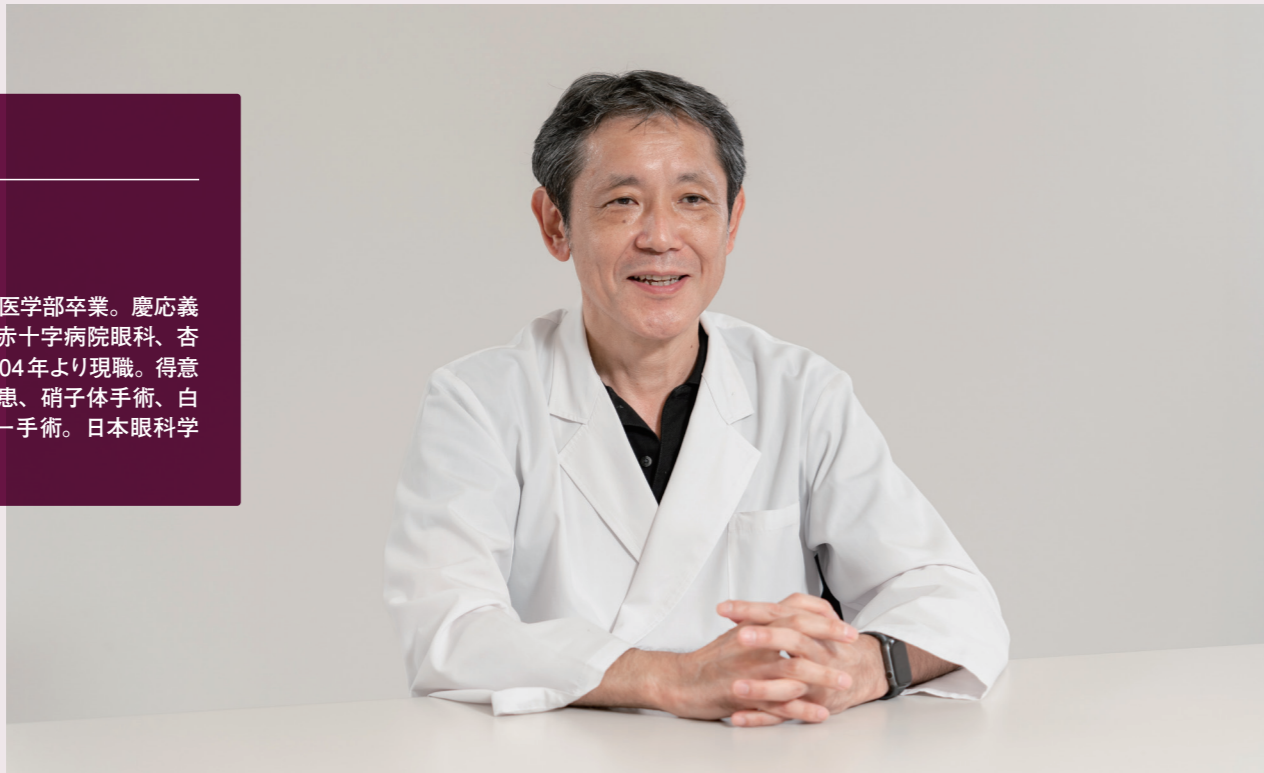
人は、生活する上で必要な情報の多くを「視覚」から受け取っています。視覚に問題が起こることは、本人、および介護する身近な人の QOL を著しく損なうことになります。「以前に比べて、物が見えにくい」「まぶしい」といった症状は、目に何らかの異常が起きているサインかもしれません。特に、当院で多くの手術を実施している白内障は、治療のタイミングによっては手術の難度が高くなるため、違和感を放置せず速やかに受診することが大切です。

Oda Hitoshi

眼科部長

小田 仁

1989年、慶応義塾大学医学部卒業。慶応義塾大学病院眼科、静岡赤十字病院眼科、杏林アイセンターを経て2004年より現職。得意な分野は網膜硝子体疾患、硝子体手術、白内障手術、眼科レーザー手術。日本眼科学会眼科専門医。



白内障手術を中心に 糖尿病の合併症などにも 院内連携で速やかに対応

当科では、白内障を筆頭に、緑内障、糖尿病網膜症や網膜剥離、加齢黄斑変性などの網膜・硝子体疾患などを広く診療しています。糖尿病の三大合併症の一つで、目の中の網膜といわれる部分がダメージを受けて視力が低下する糖尿病網膜症などについては、糖尿病・内分泌内科などと連携しながら治療にあたります。

さまざまな目の病気の中でも、特に多くを占めるのが白内障です。当科で行う手術の大半は白内障の手術であるため、より質の高い治療を提案すべく設備の強化と技術の研究に努めてきました。現在、当科には4人の常勤医が在籍しており、連携しながら治療にあたっています。

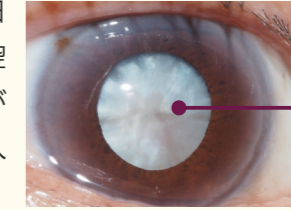
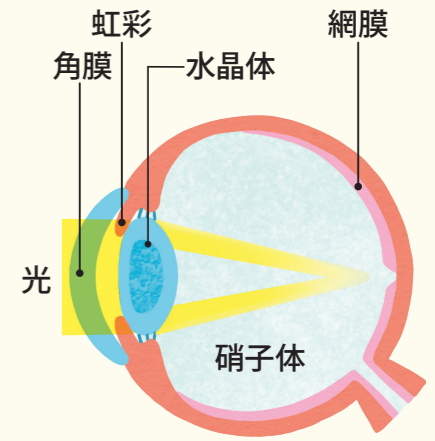
白内障の原因は主に加齢 違和感があれば速やかに 眼科で検査を

白内障の原因は、先天的なものや、アトピー性皮膚炎・糖尿病と

いった全身疾患に併発するもの、薬の副作用などさまざまですが、最も多いのは加齢による「加齢性白内障」です。白内障になると、目の中でカメラのレンズのような役割を担っている水晶体が白く濁り、光を通しにくくなります。「物がかすんで見える」「視界がぼやける」「太陽光や蛍光灯がまぶしく感じる」「急に視力が低下した」といった症状がある場合は、白内障の初期症状かもしれません。できるだけ早めに受診しましょう。しかし、こうした症状は老眼と

白内障ってどんな病気？

白内障は、目の中でレンズのような役割をしている「水晶体」が白く濁り、光を網膜に届けられなくなる病気です。初期では明確な症状が現れないことも多く、気づかないまま過ごしている方も多くいます。白内障の濁りを薬で取ることはできず、問題を根本的に解消する方法は手術のみです。手術は日帰りも可能で、早ければ翌日から視力の回復を実感できます。手術後は翌日と1週間後に診察を受けていただく必要があるため、遠方の方などはご希望に応じて入院での手術にも対応しています。



高度の白内障。白内障は水晶体が濁る病気である

どでも起こるため、年齢のせいだと考えて放置してしまうことがほとんどです。白内障は手術をすればほぼ治る病気であり、通常は手遅れになる病気ではないものの、進行した場合は手術の難度が上がります。違和感をそのままにせず、受診に結びつけることが大切です。

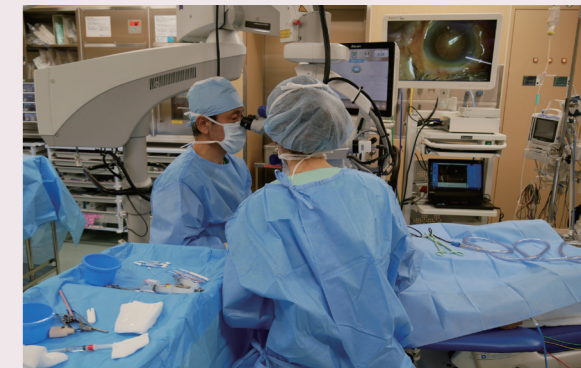
白内障の根本治療は手術 生活への影響度合いに応じて 手術をするかどうかの決断を

白内障は70代以降に多い疾患ですが、若いうちから発症するこ

ともあります。根本的な改善には手術が必要ですが、差し迫って生活に支障が出ていない場合は急いで手術をする必要はありません。ただし、車の運転や読書、仕事、家事などで何らかの不自由を感じている場合は、年齢にかかわらず手術を検討すると良いでしょう。見えづらさが改善すれば生活の質が上がり、日々の暮らしをより楽しめるようになります。

白内障の中には、初期症状がほとんど現れず、発症していることに気づきにくいものもあります。一般的には加齢とともに発症リス

クが上がるため、目立った症状がない場合でも定期検診を欠かさないようにしてください。



治療に最善を尽くせるよう、手術室をはじめ設備にもこだわっている

白内障は、手術をすれば視力を回復できる病気です。手術の判断は、単純な視力ではなく「本人の見えづらさ」「生活のしにくさ」によって行います。年齢にかかわらず、何らかの不具合や不便さを感じている方は、お気軽にご相談ください。



現在、常勤の医師4人の眼科。白内障で来院した患者さんの手術は、他院に依頼することなく当院の医師で対応

① 医療機関の役割分担で待ち時間短縮や適切な検査や治療をよりスムーズに

気軽に相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう！

医療機関には、診療所・クリニックをはじめ総合病院や大学病院などがあり、患者さんの症状や状態に応じ、急性期、回復期、慢性期などそれぞれの医療機能の特性に

応じた役割分担が進められています。体調不良や健康面などに不安があるときに「まずはこの先生に診てもらおう！」と最初に相談できる「かかりつけ医」を普段から持つておくことで、専門的な検査や治療が必要な場合に、適切な医療機関へスムーズに紹介を受けることができます。

かかりつけ医とは？

健康に関することを何でも相談でき、必要などきは専門医療機関を紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師のこと



気になる症状をはじめ体調や健康に関する悩みなど気軽にご相談くださいね！

患者さんが、かかりつけ医を持つことのメリット

- 1 継続的に同じ医師に診療を受けることで、体質・アレルギーや日頃の生活習慣、既往歴などを把握されやすくなります。
- 2 体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築ければ、病気の早期発見や予防にもつながります。
- 3 専門的な検査や治療が必要となった場合に専門医療機関を紹介してもらえることができ、スムーズに受診することができます。

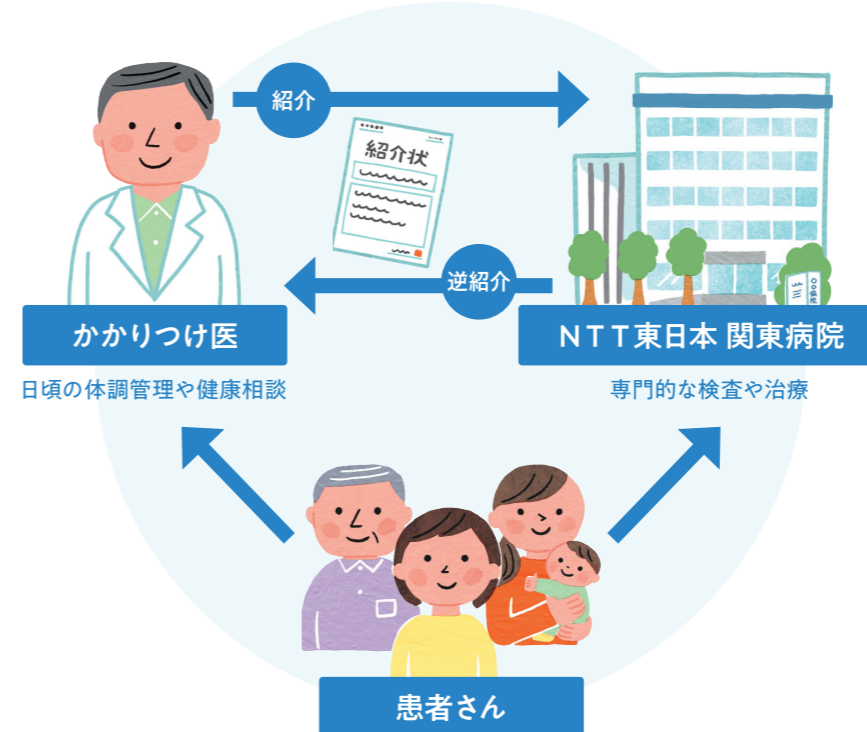
(参考：日本医師会ホームページより抜粋 <https://www.med.or.jp/people/kakari/>)

紹介受診重点医療機関に当院は選定されています

「紹介受診重点医療機関」とは紹介状をお持ちの患者さんの外来診療や手術・処置、化学療法、放射線治療などといった高度・専門的な外来診療を重点的に行う医療機関です。当院は2023年8月より紹

介受診重点医療機関に選定されています。体調不良や健康面などに不安があるときは、まず身近なかかりつけ医を受診していただき、専門的な検査や治療が必要な場合に紹介状を持って当院を受診いただくようお願いいたします。また専門

的な治療が終了し、症状が安定した患者さんは医師の判断のもと、かかりつけ医に逆紹介いたします。2023年10月より当院のホームページからも患者さんご自身でかかりつけ医の検索ができるようになりました。ぜひご活用ください。



かかりつけ医をお探しの方

かかりつけ医検索システムはこちら！



当院1F患者サポートセンターでもご相談を承っておりますので、お困りの際はお声がけください。

② 「WEBでの初診予約・予約変更」の申し込みが24時間いつでも可能になりました

患者さんにご利用いただいているWeb予約システムで、予約の変更・キャンセル・確認の受付も開始しました。詳細は当院ホームページをご確認いただけますと幸いです。

予約の流れ

Webフォームからお申し込み

当院からSMS (ショートメッセージサービス) にて連絡

当院のWeb予約システムはこちら！



※お申し込みされた時点では予約確定となりませんのでご注意ください
※選択肢にない診療科については電話予約のみになります

③ 市民公開講座をオンライン開催しています！

こちらからお申し込みください

お申し込みにはZoomウェビナーへのご登録が必須になります。



■スケジュール

日程	テーマ	演者
2024年2月16日(金) 13:00~	脊柱管狭窄症	整形外科 部長 山田 高嗣
2月18日(日) 10:00~	今日からフレイル予防！からだ〜くち〜人とのつながり 第3回『人とのつながり：つなぐ、を、強く』	作業療法士 森田 将健

※上記日程や内容は、予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。最新情報については、随時ホームページを更新してまいりますので、ご確認ください ※隔月で開催しております

なるほど! Medicine etc. おくすりエトセトラ

お薬に関するいろんな疑問。「なるほど!」と、知ってうれしい健康まめ知識を薬剤部がお届けします!

私が答えます!



薬剤部 / 長村 真璃奈

Q 緑内障の目薬を使用しています。使用時の注意点はありますか?

A 目薬のさし方や投与間隔などいくつか注意点があります。

まずさし方に関してですが、基本的には1回あたり1滴で十分です。目に薬液を保持できる量は最大で30μLとされ、目薬は1滴で約50μLあるためです。一部の目薬では、余分な薬液が目や皮膚の色素沈着を起こす可能性があります。点眼後は目から溢れた薬液を拭き取ってください。また点眼後、しばらく目を閉じるか目頭を軽く押さえてください。目の表面で薬の吸収を高めるとともに、一部の目薬で起

こる全身性の副作用を最小限にできます。

次に目薬の投与間隔ですが、複数の目薬を使用している場合、間隔を5分あける必要があります。すぐ投与すると前の薬液が吸収されないためです。10分あける目薬もあるため注意してください。緑内障の目薬は普段からの継続とともに使用方法を注意することで副作用を最小限にして、薬の効果を最大限に発揮させることができます。

旬の(おいしい)いただきます!

今号の食材 白菜

おすすめヘルシーレシピ

ロール白菜の中華スープ仕立て

【栄養価】(1人分)
エネルギー 420kcal
たんぱく質 14g
食塩相当量 1.3g



今号の食材 白菜

豚バラ肉と白菜を使用したレシピです。豚肉には体のエネルギーを効率良く使うために必要なビタミンB群を多く含む食材です。白菜は電子レンジで加熱するため水溶性のビタミンの損失が少なく、加熱することでかさが減り食物繊維もたっぷり摂取することができます。鍋物でお馴染みの組み合わせですが、とろみ付きのスープ仕立て、生姜を効かせることで減塩効果もあります。ぜひお試しください。

【材料】(2人分)

白菜……4枚
豚バラ肉薄切り……200g
塩、こしょう、片栗粉……少々

〈スープ〉

乾燥春雨……7g
にんじん(千切り)……20g
生姜(千切り)……10g

水……300ml
醤油……小さじ1
鶏がらスープの素……小さじ1.5
ごま油、塩……少々
片栗粉……小さじ1/2
万能ねぎ……10g

【作り方】

- 白菜をラップで包み、電子レンジで600W4分加熱し、粗熱を取る。
- 豚バラ肉を少し重ねるようにして広げ、塩コショウで下味をつけ、表面に片栗粉を軽く振っておく。
- 加熱した白菜を乗せ、肉の幅に合わせて折り込み、手前

- から巻く。巻き終わりを下にして並べ、ふんわりとラップをし、電子レンジで600Wで5分加熱する。
- 鍋にスープの材料を入れ、具材に火が通ったら水溶き片栗粉で弱火のとろみをつける。お皿に3を切って並べ、スープをかけて上からねぎを散らして完成。

協力：エムサービス レシピ作成：北川明日美 調理担当：平松 葉子

がっちり連携

連携医療機関のご紹介

NTT東日本 関東病院では、地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院とともに地域の医療を支える「医療連携協力医療機関」の皆さんをご紹介します。

医療法人桜仁会 いがらし皮膚科東五反田

皮膚科

☎ 03-6277-2351

28年余勤務していたNTT東日本 関東病院を昨年末に退職し、本年2月より病院玄関から徒歩1分の場所に開院いたしました。半年余りが経過し、近隣の住民の方の受診が多く、しかも関東病院を受診したことがない方が結構いらっしゃるのには少々驚きでした。今後は病院とクリニックのそれぞれのメリットを生かした病診連携をめざし、受診して良かったと思っただけのような診療を心がける所存です。



【住所】〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-11-12 パラドール池田山102
【電話】03-6277-2351 【診療科】皮膚科

Doctor profile

五十嵐 敦之(いがらし あつゆき)



1984年 東京大学医学部医学科卒業
東京大学医学部皮膚科学教室入局
1993年 東京大学医学部附属病院分院皮膚科講師
1994年 NTT東日本関東病院皮膚科常勤医師
1996年 NTT東日本関東病院皮膚科医長
2002年 NTT東日本関東病院皮膚科部長
2023年 いがらし皮膚科東五反田開院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:45 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	—
14:00 ~ 17:30	○	○	●	○	○	—	—

● 14:30 ~ 17:30 ※担当医は日によって異なります
※最終受付は診察終了の15分前までとなります
※祝日は休診

白岩皮膚科医院

皮膚科

☎ 03-3787-0323

私は経歴のとおりNTT東日本 関東病院の前身である関東通信病院の出身です。都内研修のため高名な先生方の教育を受けて、武蔵小山に開業して44年になります。完全に地域密着型の診療で、親から子ども、孫に至るまで幅広い患者さんに接しており、皮膚科以外の相談も受けています。昔ながらの軟膏中心の外来で、治療や診断困難な症例はNTT東日本 関東病院にお世話になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。



【住所】〒142-0062 東京都品川区小山4-8-19-102
【電話】03-3787-0323
【診療科】皮膚科

Doctor profile

白岩 照男(しろいわ てるお)



1969年 東京医科大学卒業
関東通信病院(現NTT東日本 関東病院)皮膚科レジデント勤務
1973年 東京都養育院附属病院(現東京都健康長寿医療センター)皮膚科勤務
1977年 関東通信病院皮膚科医長
1979年 白岩皮膚科医院開院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	●	—
16:00 ~ 19:00	○	○	○	—	○	—	—

● 10:00 ~ 15:00
※祝日は休診

「ウエリスオリーブ新小岩」のご入居者様に伺いました! Q.ご入居の決め手は?

◆人と人がつながれる
交流を育む好環境!



image photo
毎朝のゴミ回収
定期開催の
体操教室
季節のイベント
まちライブラリー
ミニ図書館併設

◆快適な生活にわくわく
敷地内で楽しく買い物!



移動スーパーやパン屋さんが、定期的に建物前で開店します。イベント時にはキッチンカーも登場!

◆1食からでも大丈夫
お食事サービスも
利用できる!



※喫食に応じて別途費用がかかります
食堂ラウンジ(2010年5月撮影)

◆一人暮らしでも安心
すぐ相談できる!

協力医療機関による
毎月の健康相談も!



image photo

◆大事な家族だから
ペットと一緒に
暮らせる!

※管理規程を遵守していただきます



image photo

◆初期費用や更新も気になる
入居一時金が不要!
更新手続きも不要!

※入居時に敷金・仲介手数料が必要となります

完全予約制
現地で見学・個別相談開催中

セミナー付き現地見学会随時開催中



居室(2018年9月撮影)

お問い合わせは「ウエリスオリーブ案内センター」まで

0120-856-652 営業時間 9:00~19:00 (年中無休)

ウエリスオリーブ新小岩物件概要■募集概要●賃料(月額) / 120,000円~174,000円●住居専有面積 / 29.64㎡~44.82㎡●間取り / 1K・1LDK●募集戸数 / 3戸●建物竣工時期 / 2010年4月●入居時期 / 即入居可●共益費等(月額) / 11,000円~14,000円●基本サービス費(コンシェルジュ・見守り・生活支援・健康相談等、月額) / 33,000円(税込・1人入居)※2人以上入居の場合1人あたりの加算額: 22,000円(税込)●食事費(喫食に応じて負担) / 朝食162円(税込)、昼食550円(税込)、夕食648円(税込)●敷金(入居時の受領費用) / 240,000円~348,000円●損害保険 / 加入義務あり(別途費用がかかります)■共通概要●所在地 / 東京都葛飾区東新小岩三丁目14-10(住居表示)●交通 / JR総武線「新小岩」駅まで徒歩11分●賃貸総戸数 / 45戸●構造・規模 / 鉄筋コンクリート造6階建●類型 / サービス付き高齢者向け住宅(登録番号11048)●入居条件 / 60歳以上●契約形態 / 終身建物賃貸借契約●介護保険 / 在宅サービス利用可●広告主 / NTTアーバンバリューサポート株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー●宅建業法による免許証番号 / 国土交通大臣(3)第7838号●所属団体および公正取引協議会加盟事業者である旨 / (公社)全国宅地建物取引業協会連合会会員 (公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟●取引条件の有効期限 / 2024年1月末日 ※掲載の情報は2023年10月現在の内容です。

※距離表示については地図上の概算距離を算出したもので、徒歩1分=80mとして算出(端数切り上げ)しています。



〈貸主〉 **NTTアーバンバリューサポート**

〈運営〉 **株式会社ツクイ**
TSUKUI

ホームページも併せてご覧ください
ウエリスオリーブ 検索

